

# LORC Newsletter



## LORC ニュースレター発行にあたって

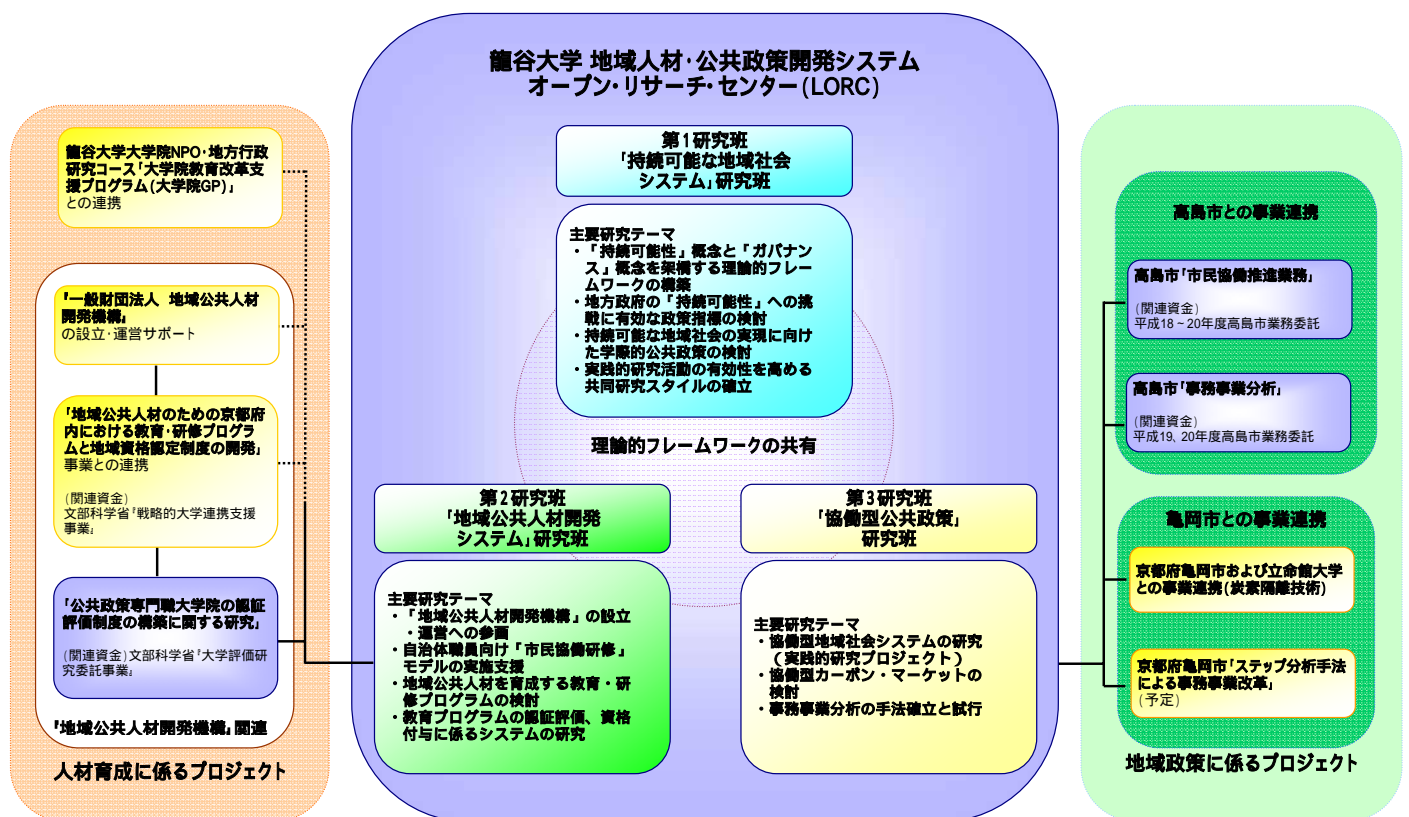
2008年9月、LORCフェーズ の継続が正式に決定し、様々な事業とプロジェクトが本格始動し、LORC外のプロジェクトとの関わりも増えてきました。LORC ニュースレターは、各研究班やプロジェクトの進行状況、研究会・イベントなどに関する情報を中心に、年に4回程度の発行を予定しています。本研究プログラム及び関連プロジェクトに関する情報をより多くの方々と共有し、地域社会との連携を取りながら事業の充実を図っていかねばと考えています。

## LORCフェーズ 概要と関連プロジェクトについて

2008～2010年度に実施するLORCフェーズ では、これまでの成果を社会へ導入し定着させる仕組みを作るために、関連プロジェクトと連携しながら、実践的研究を展開しています。具体的には、1. 持続可能性を実現するための地域公共政策について理論と実践を架橋する研究、2. 地域社会における人材開発システム及びその認証評価制度の構築・事業化に関する研究、3. マルチパートナーシップに基づく地域ガバナンスの具体的な政策・まちづくり活動に関する実践研究を進めます。

また、人材育成に係るプロジェクトとして、2007年度からLORCが実施している「大学評価研究委託事業」のほか、2009年1月に設立した「一般財団法人 地域公共人材開発機構」ならびに、2008年度から取り組みを開始した、京都市内5大学、6関係団体と実施する「戦略的大学連携支援事業」などとの連携があります。地域政策に係るプロジェクトとしては、2006年度から実施している滋賀県高島市の「市民協働推進業務・事務事業分析事業委託」の実施や、京都府亀岡市を中心とした「カーボンマイナスプロジェクト」との連携があります。

関連事業との連携機会も増えたので、それぞれのプロジェクトの目標と到達点を明確にしなが、事業を進めていけるよう努めたいと考えています。



LORCのプロジェクト

LORC外の連携先・プロジェクト

## LORCセンター長、第1研究班代表 白石克孝



LORCフェーズ 1 では、国際的な共同研究体制のもとに、参加型・協働型開発に必要な地域社会システムとそれを担う人材について研究してきました。その成果として、「マルチパートナーシップ」、「地域公共人材」、「社会的認証制度」といった一連の新キーワードで示せるような、これからの地域社会システム構築の方向性を明らかにすることができました。

LORCフェーズ 2 では、こうした成果を社会に定着させる仕組みを作るために、実践的な研究を展開することを目指します。持続可能な活力ある地域社会の実現に貢献することをミッションとして、本研究事業に取り組みます。

また第1研究班は、持続可能な地域社会をつくる地域公共政策を理論と実践を架橋するアプローチで学際的な共同研究を進めていきます。こうした研究活動を背景にして、LORC全体で展開される様々な実践的研究活動を有機的に結びつける、いわば「研究統括」班としての役割をはたすことが必要はないかと考えています。これによって、研究活動が「縦割り」になることを防ぐとともに、実践的研究活動の有効性を高める共同研究スタイルの確立を目指します。

新たなフェーズに移行するに際しまして、センター長を富野暉一郎から引き継ぐことになりました。これまでも益して、よろしくご支援賜りますようお願い申し上げます。



## 第2研究班代表 土山希美枝

LORCフェーズ 2 でも第2研究班の代表を務めさせていただきましたが、「地域公共人材開発機構」が設立し、前フェーズの教育・研修にくわえ、実施段階に入った社会的認証評価制度も対象とする新生第2班の代表となりました。

地域公共人材というLORCのコンセプトが、多くの方に賛同され期待されてきていること、それを実体化するときの難しさと重さを実感しています。前フェーズの第2研究班は、多彩な研究員とともに実際の課題に寄り添いながら研究を重ねるアプローチを進めてきました。班代表の仕事は、明確なリーダーシップの発揮というよりも、研究員がもつ、社会的意義や価値にたいするすぐれた感覚を、班の研究につなげていく橋渡しではないかと思っています。「地域公共人材開発機構」の運営が本格化したときに、第2研究班の研究成果が、教育・研究のプログラム開発にも、プログラムのユニットないしはパッケージの認証にも資することができるよう、研究員の力を借りて進めて行きたいと考えています。

## 第3研究班代表 富野暉一郎



第3研究班はこれまでLORCが理論研究やシステム研究を実践的な活動で検証し、その成果を理論研究とシステム研究にフィードバックするために開発してきた協働型地域社会づくりに関する実践的研究の広がりを受けて、その成果を地域社会の具体的な事業に展開して地域社会改革につなげるための研究を目指しています。そのためにこの研究グループでは、自治体やNPOの皆さんだけでなく、企業や農業法人、公認会計士など多くの実務家の方々に参加やご協力をお願いすることになっています。この仕事屋集団が研究プロジェクトをどのように展開させることになるか期待するとともに、その成果を楽しみにしています。

## LORCフェーズ2のテーマカラーとロゴ、HPについて

LORCフェーズ 2 では、龍谷大学の紫をテーマカラーとし、各班のカラーを、LORCフェーズ1の成果である3巻の叢書からとり、下記の色にしたいと思います。

第1研究班: 水色 ・ 第2研究班: 黄緑 ・ 第3研究班: 黄色

また、LORCフェーズ 2 の新たなスタートを機会に、LORCのロゴを作成しました(ロゴのコンセプトについては、6ページをご参照下さい)。

LORCのHPもリニューアルを予定しており、3月7日の国際シンポジウムを前に、更新を予定しています。LORC関連イベントのスケジュールや、研究員ニュースレターなど、新たな項目も盛り込んでいきますので、ご活用いただければと思います。





## LORC研究員メンバー

LORCフェーズ2では、学内13名、学外38名（内国外5名）、計51名の方に研究員を務めていただき、第1～3研究班において、それぞれの分野から研究活動に取り組んでいただいています。LORCフェーズ1からご参加いただいている方に加えて、特に第2、3研究班には、各方面でご活躍の実務家の方に新たにご参加頂き、より実践的な研究の推進、社会システムの構築に取り組んでいます。今後2年間よろしくお願ひいたします。

### 第1研究班

法学部・教授	白石 克孝	地域ガバナンスと地域持続可能性の接合理論の構築
国際文化学部・教授	斎藤 文彦	地域ガバナンスと地域持続可能性の接合理論の構築
法学部・教授	石田 徹	地域ガバナンスの政策領域別インパクトの研究(福祉・雇用政策)
早稲田大学人間科学学術院・教授	柏 雅之	地域ガバナンスの政策領域別インパクトの研究(農村政策)
東京農工大学大学院共生科学技術研究院・教授	千賀 裕太郎	環境資源管理システムを活用した地域公共政策の研究
大阪健康福祉短期大学介護福祉学科・講師	辻本 乃理子	参加協働型の地域公共政策の研究
神戸松蔭女子学院大学人間科学部・教授	中林 浩	地域ガバナンスの政策領域別インパクトの研究(都市政策)
同志社大学大学院総合政策科学研究科・教授	新川 達郎	地域ガバナンスと地域持続可能性の接合理論の構築
東京農工大学・名誉教授	堀尾 正勅	環境資源管理システムを活用した地域公共政策の研究
Honorary Lecturer, CURS, University of Birmingham	小山 善彦	参加型地域公共政策と英国における地域ガバナンスの事例研究
Professor, SCRI, Northumbria University	Bob Evans	地域ガバナンスと地域持続可能性の接合理論の構築
Adjunct Professor, Portland State University	Steve Johnson	参加型地域公共政策と米国における地域ガバナンスの事例研究
Head of Unit, Unit-TEN, European Economic and Social Committee	Eric Ponthieu	EUによる持続可能性実現への政策フレームの研究
Regional Director, ICLEI Europe	Gino Van Begin	地方自治体による持続可能性実現への取り組みの事例研究

### 第2研究班

法学部・准教授	土山 希美枝	地域公共人材の育成システムの研究
法学部・教授	坂本 勝	公務員制度のあり方についての研究
法学部・准教授	西田 幸介	行政手法の現代的検討
法学部・准教授	村田 和代	地域公共人材の研修・育成プログラムの評価・研究
多治見市・会計管理者	青山 崇	自治体人事・研修システム改革の研究
京都市人事委員会事務局・任用課長	尾本 恵一	社会的認証を踏まえた採用制度の研究
ローカル・ガバナンス研究所・所長	木原 勝彬	市民社会セクターの人材育成の研究
京都府立大学公共政策学部・准教授	窪田 好男	公共政策教育・研修の評価
(独法)科学技術振興機構社会技術研究開発センター・アソシエイトフェロー	重籐 さわ子	環境資源管理システムの研究
神戸学院大学法学部・准教授	南島 和久	評価システムの制度と運用

第2研究班（前ページに続く）

熊本職業訓練短期大学校・学長	西田 俊之	自治体職員研修の研究
名古屋学院大学・客員教授	西寺 雅也	自治体職員の協働能力育成の研究
草津市政策推進部・理事(特命担当)	林田 久充	自治体職員研修の研究
大阪大学大学教育実践センター・教授	早田 幸政	社会的認証制度と資格付与の研究
(財)きょうとNPOセンター・常務理事	深尾 昌峰	市民社会セクターの人材育成の研究
(財)京都市府市町村振興協会業務課・課長補佐	藤井 敏久	自治体職員研修の研究
京都府人事課・参事	前川 二郎	社会的認証をふまえた採用制度の研究
(社)奈良まちづくりセンター・理事長	室 雅博	市民社会セクターの人材育成の研究
浄土宗應典院・主幹	山口 洋典	人材育成と教育プログラムの研究
(財)大学コンソーシアム京都 主幹	山本 恵果	社会的認証と教育プログラムの研究

第3研究班

法学部・教授	富野 暉一郎	行政システム分析研究
法学部・教授	大矢野 修	協働型地域づくり研究
経済学部・教授	河村 能夫	条件不利地域の産業政策の研究
法学部・教授	北川 秀樹	協働型環境政策の研究
法学部・教授	広原 盛明	協働型地域づくり研究
大学院法務研究科・教授	本多 滝夫	自治体立法政策の研究
京都銀行法人部業種別専門営業部環境チーム・係長	青島桃太郎	協働型カーボン・マーケットの研究
京都市総合企画局地球温暖化対策室・計画推進担当課長	宇高 史昭	地域レベルにおけるカーボンオフセットシステムの研究
市民がささえる市民活動ネットワーク滋賀・代表	阿部 圭宏	NPOと自治体の協働型政策形成の研究
イクレイ日本・事務局長	岸上みち枝	地球環境レベルでの持続可能性に関する研究
ヒューマンスキル研究所・主宰	小室 邦夫	NPOと自治体の協働型政策形成の研究
横浜国立大学教育人間科学部・講師	佐桑 あずさ	協働型地域づくり研究
(特活)気候ネットワーク・事務局長	田浦 健朗	協働型カーボン・サイクルの研究
亀岡市企画課・企画係長	田中 秀門	環境型地域産業政策の研究
草津市政策推進部予算調整課・予算調整グループ長	田中 祥温	行政システム改革(事務)の研究
京都府商工労働観光部ものづくり振興課地域産業振興担当・副課長	中越 豊	環境型地域産業政策の研究
(特活)京都地球温暖化防止府民会議(京都府地球温暖化防止活動推進センター)・事務局員	淵上 佑樹	協働型環境政策の研究
八幡公認会計士事務所・所長	八幡 知行	行政システム分析(財務)の研究

## 2008年度LORC関連の主な研究会・会議・イベント等実施状況

10月7日(火)	第1研究班 第1回研究会	3年間の研究方針、今年度の研究計画、業務委託内容と委託先、その他
10月10日(金)	LORC2008年度第4回運営会議	人事、LORC予算、研究年次計画、その他
11月10日(月)	第3研究班 第1回研究会	フェーズの研究課題と研究体制、第3班の設置目的と研究課題、予算、研究体制、海外調査、その他
11月22日(土)	第2研究班 第1回研究会	本年度の研究方針について
11月26日(水)	LORC2008年度第5回運営会議	研究員の変更、研究員の個人割予算の使用法、今年度LORC研究計画及び執行体制、その他
12月13日(土)	第3研究班 第1回持続型社会システム部会	カーボンオフセットの取り組み、亀岡市の取り組み、意見交換
12月25日(水)	合同研究(第2研究班、地域公共人材開発機構設立準備委員会、地域公共人材大学連携オフィス)	地域公共人材の資格認定制度の基本設計について～海外調査報告を受けて～
1月9日(金)	LORC2008年度第6回運営会議	研究員の変更、機構設立シンポジウム、研究員総会・班研究会、エクスカーション、第1・3研究班合同欧州調査、その他
1月13日(火)	大学院GP・FD研究会とLORC第2研究班 第1回合同研究会	大学院GP委託事業「ファシリテーター研修」について、ファシリテーション能力について、その他
1月14日(水)	龍谷大学新春技術講演会ポスターセッション出展	LORCフェーズ1、フェーズ2の研究成果
1月27日(火)	第3研究班 第2回持続型社会システム部会	亀岡市関係団体との調整状況、研究員の役割、国内調査(野洲市)、欧州環境政策調査、その他
1月29日(木)	第3研究班 第1回協働型地域経営部会	事務事業分析・行政コスト計算、今後の進め方、その他
2月10～20日	欧州環境政策調査(第1・3研究班合同)	ニューカッスル:カーボンオフセットに関する取り組み、LSPの意思決定プロセス、ドイツ:ICLEI Europe、気候同盟において欧州自治体の環境・気候政策、個別自治体の政策、現地視察等
2月20日(金)	第2研究班 第2回研究会	第2研究班のミッションについて、研究員からの論点提起、ほか
2月26日(木)	LORC2008年度第7回運営会議	機構設立記念シンポジウム・総会、今年度予算、PD・RA体制、ほか
2月27日(金)	第1、3班合同野洲市視察調査	住民参加型環境保全活動の取り組みについて(太陽光発電、地域通貨・エコポイント、森林資源活用、等)

## 今後のLORC関連研究会・イベント等の予定

3月4～6日	海外研究員エクスカーション	国内環境政策先進事例調査(飯田市)
3月7日(土)	地域公共人材開発機構設立シンポジウム	「新しい公共」を担う人材の育成と地域資格の活用
3月8日(日)	LORC研究員総会	LORCフェーズ1の到達点とLORCフェーズ2の目標、関連プロジェクトとの連携、各班の取り組み状況と今後の役割分担、その他

## 地域公共人材開発機構の設立にあたって

一般財団法人 地域公共人材開発機構専務理事・事務局長 富野暉一郎

現代の日本社会は、人口減少や高齢社会の到来さらには地球温暖化問題などきびしい環境の中にありますが、人々が心豊かで安心できる社会を創出し次の世代に引き継ぐ責務が私たちにはあります。そのためにはすべての分野が協力連携を強めて社会を運営する協働型社会を造り、それを実現するための新たな人材 - 「地域公共人材」を育成して、力強く社会を前進させなくてはなりません。

「地域公共人材」の育成と活用をはかる「一般財団法人 地域公共人材開発機構」はその社会的要請に応えるコンソーシアムとして本年1月29日に発足しました。京都発のこの機構の設立により、産官学民それぞれの力を結びつけ、豊かな公共的活動を展開するために必要な人材育成のための教育・研修プログラムの質保証と、その修了者に対する一定の地域資格の仕組みが動き出すこととなります。

3月7日にはこの財団の設立記念国際シンポジウム「『新しい公共』を担う人材の育成と地域資格の活用」をLORCと地域公共人材大学連携事業とともに開催します。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

<連絡先> 〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67 TEL:075-645-2036 FAX:075-283-0029  
E-mail: info@colpu.org HP: http://www.colpu.org/ (近日開設予定)



## PD・RAメンバー紹介

### LORC支援室

LORC支援室も、新メンバーを加え、新たな体制でフル稼働しています。今後ともご指導の程よろしく願いいたします。

PD：的場 信敬

担当：LORC関連研究プロジェクト全体統括  
専門・関心領域：英国地域ガバナンスシステム、  
持続可能性概念

PD：井上 芳恵

担当：LORC統括、LORC第3研究班  
専門・関心領域：都市計画学・地域居住学、人口減少社会における地域再生・活性化、大学と地域連携のあり方

RA：清水 万由子

担当：LORC第1研究班  
所属：京都大学大学院地球環境学舎博士課程  
専門・関心領域：持続可能な都市・地域、住民参加

RA：杉岡 秀紀

担当：LORC第2研究班  
所属：同志社大学大学院総合政策科学研究科博士後期課程  
専門・関心領域：大学地域（まちづくり）論

RA：定松 功

担当：LORCプロジェクト、大学院GP  
所属：龍谷大学大学院法学研究科博士後期課程  
専門・関心領域：自治体政策形成過程

RA：西原 京春

担当：LORCプロジェクト、大学院GP  
所属：神戸大学大学院国際協力研究科博士後期課程  
専門・関心領域：都市と農村の関係性、市民社会成立の課題

### 地域公共人材大学連携オフィス

戦略的大学連携支援事業の実施に伴い、京都駅前にオフィスを開設し、スタッフが常駐しています。

PD：平岡 俊一

担当：文部科学省戦略的大学連携支援事業  
専門・関心領域：地域・自治体レベルにおける市民参加型地球温暖化対策の推進に関する研究

RA：村上 佳世

担当：文部科学省戦略的大学連携支援事業  
所属：京都大学大学院経済学研究科博士後期課程  
専門・関心領域：環境経済学、環境情報と消費行動、ラベル認証制度

連絡先：〒600-8327 京都市下京区西洞院通塩小路上ル東塩小路町608-9日本生命京都三哲ビル8F  
TEL:075-343-3301 FAX:075-343-3307 開室時間：平日 9:15～17:45

## LORCのロゴコンセプトについて



ロゴ1：LORCの「O」（オープン）の部分に、3つの研究班のフレームワークを3つの輪が集合する状態で表現しています。また、交わった中心から集合体全体に発信していることを色の変化で表現しています（色；青、黒、緑）。これらの色の組み合わせにより、進歩的な、合理的な、理知的なイメージを表現しています。「O」の中心色となる青がセンターの中心を表し、センターの理知的な印象を与えつつ、周辺の活力のある緑へのグラデーションを用いることで、理念の共有やセンターの意図する協働のイメージをつくりあげています。

### 編集後記

2008年の後半から本格的に事業が開始し、調査や研究会、シンポジウム準備等、忙しい年度末を迎えています。スタッフや関連するプロジェクトも増えたので、より一層連携を図りながら、事業の推進に努めています。きたいと考えていますので、ご指導、ご協力のほどよろしく願いいたします。 PD・RA一同

編集・発行：龍谷大学地域人材・公共政策開発システムオープン・リサーチ・センター（LORC）支援室  
〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67 龍谷大学深草学者紫光館3F  
TEL：075-645-2312 FAX：075-645-2240 HP：<http://lorc.ryukoku.ac.jp/>